

NHK <http://www3.nhk.or.jp/lnews/nagasaki/5034702131.html>

### 石木ダム建設反対で集会

国が建設計画の事業認定をした川棚町の石木ダムを巡って、建設に反対する市民団体などが参加した集会が長崎市で開かれ、建設計画からの完全撤退を求めて闘い抜くとする宣言を採択しました。

長崎県と佐世保市が川棚町に建設を計画している石木ダムについて、国はことし9月、土地収用法に基づいて地権者からの土地の強制収用も可能となる「事業認定」を行いました。

これに対し、石木ダムの建設に反対する地元をはじめ、全国の市民団体などが長崎市で集会を開き、およそ350人が参加しました。集会では、研究者や支援者が、「佐世保市は、人口の減少が続いているのに今後水の需要が急増するという過大な予測を立てて、ダム建設を強行しようとしている」と批判しました。

また、ダムの建設予定地に住む男性は、「ダムができれば畑も住居も水の底に沈んでしまう。私たちは、生まれ育った土地に住みたいだけです」と訴えました。

そして、参加者たちは、「事業認定」の取り消しと建設計画からの完全撤退を求めて闘い抜くとする宣言を採択した後ダム建設反対を訴えて長崎市内を行進しました。集会の実行委員長を務める長崎大学の藤澤秀雄名誉教授は、「長崎県の対応を見ていると、ダムを造ることが目的化しているだけで必要な理由が見いだせない」と話しています。

NBC <http://www.nbc-nagasaki.co.jp//news/nbcnews.php#4>

### 石木ダム反対の全国集会

地元住民の根強い反対で計画がストップしている東彼・川棚町の石木ダムについて考える全国集会が、9日長崎市で開かれました。集会には全国各地でダム反対運動をしている市民ら300人あまりが参加しました。石木ダム事業は今年9月、土地収用法に基づく事業に認定され、反対住民の土地を強制的に収用することも出来ることになったため、県と反対派の間で緊迫した事態となっています。集会では反対派の住民から「強制収用されるかもしれないという不安を抱えながら現在も変わらず生活を送っています」と現状が報告されました。また、水問題の専門家は佐世保市では人口減少や節水型生活の普及により、この10年で水道水の利用が2割ほど減っており、石木ダムは不要と指摘しました。集会のあと参加者は、市内を行進し280億円以上の税金が使われる石木ダムにもっと関心をもってほしいと市民に呼びかけました。石木ダム反対のデモ行進が長崎市で行われるのは今回が初めてでした。

NIB [http://www.nib.jp/realtime/news/news\\_3015569.html](http://www.nib.jp/realtime/news/news_3015569.html)

### 石木ダム反対全国集会

国の事業認定を受けた石木ダムの建設に反対しようと全国集会が開かれ「計画からの撤退を求める」とする決議文が採択されました。

集会には石木ダムの建設に反対する約350人が全国から参加しました。地権者の一人は、生まれ育った川原地区でこれからも生活を続けたいと訴えました。石木ダムの建設が事業認定されたことを受け地権者らは国土交通省に対し認定取り消しを求める審査請求書を提出しています。集会では「計画からの撤退を求める」とする決議文が採択されました。

KTN<http://www.ktn.co.jp/news/2013/11/09/>

## 石木ダム建設反対全国集会

県と佐世保市が、東彼・川棚町に計画している石木ダムの建設に反対する全国集会が、きょう長崎市で開かれ、ダム建設は、税金の無駄だと訴えました。

集会には、石木ダム建設に反対する地元住民や、全国からの支援者などおよそ300人が集まり、ダム建設の必要性が無いことを確認し合いました。京都大学・今本博健名誉教授「石木ダムの目的はいくつかあるが、突き詰めれば佐世保市の水道です。佐世保市の水道の水は(不足しておらず)、いない水のために、石木ダムがつくられようとしている」石木ダムは、県と佐世保市が、東彼・川棚町で計画を進めていますが、建設予定地の住民の反対により、工事は止まっています。さらに今年9月には、国の事業認定により、強制的に土地を収用することが可能になっていて、行政と、住民との溝は、深まるばかりです。地権者・松本好央さん「子どもたちは、川原の自然に育てられ、川原の人に守られ、成長してきました」「心豊かな生活を、子や孫に残すため、ダムが完全中止になるまで、反対していきます」計画の採択から38年、130億円以上が投入されたものの、必要性が見えないダム計画に反対する住民の怒りは、高まるばかりです。

KTN<http://www.ktn.co.jp/news/>

## 石木ダム反対派が現地見学会

東彼杵郡川棚町での石木ダム建設に反対する全国集会の参加者たちが現地を訪れ、改めてダムの必要性について疑問の声をあげました。川棚町を訪れたのはきのう、長崎市で開かれた石木ダムの建設に反対する全国集会の参加者などおよそ30人で、地元の住民の案内で建設予定地を見て回りました。石木ダムは、県と佐世保市が水道用水の確保と洪水防止のために計画していますが、地権者の反対で工事は止まっています。地権者の岩下和雄さん「石木川は小さい川。せき止めても洪水調整にはほとんどならない」国の事業認定により土地の強制収用への道筋が開かれていますが、参加者たちは「水道用水は足りていて洪水も別の方法で防ぐことができる」という住民の説明に耳を傾けていました。栃木県からの参加者「住民がこれだけ住んでいるところを水没させてまで作る必要があるのか」愛媛県からの参加者「ここへダムを作って人をいなくさせることがこの地域を決して発展させることではない」あすは、県庁に建設反対の要望をすることになっています。